

音戸の瀬戸公園の再整備による観光振興及び地域活性化のための基盤整備検討調査

地域の特徴等

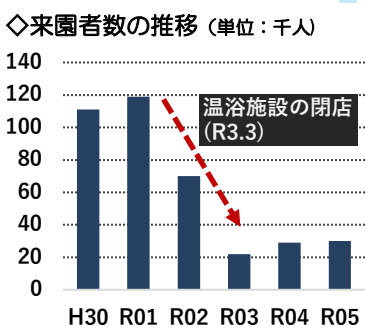
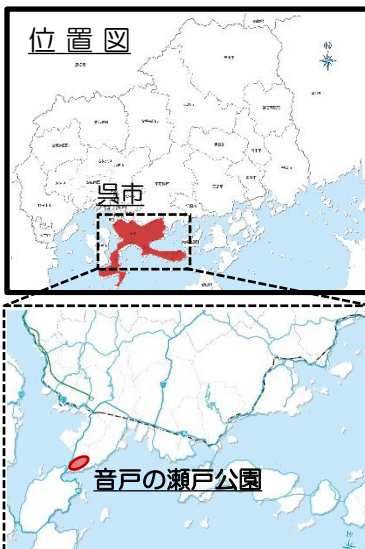
〇呉市の陸地部の南西に位置する警固屋地区に昭和37年に開設された「音戸の瀬戸公園」は、約18.7ヘクタールの広大な面積を有し、瀬戸内海の島々を眺望できる優れたロケーションに恵まれた貴重な地域資源である。

〇また、春季には園内の桜とツツジが咲き誇り、平清盛が切り開いたとされる音戸の瀬戸と合わせ景観を楽しむことのできる公園である。

〇公園の開設以来、公園内には国民宿舎や飲食施設等の便益施設が営業され、多くの市民・観光客が来園する賑わい拠点として親しまれていたが、令和3年度末には園内の全ての便益施設が閉店し、来園者への休息の場がない状況となっている。

〇公園のポテンシャルを生かした民間による便益施設の設置と併せた公園の再整備を官民連携により実施し、呉市における観光・交流拠点としての機能向上を図ることにより、地域の活性化及び観光振興が期待される。

【調査箇所：広島県呉市】



- ### (1) 社会的背景・状況の変化等 (きっかけ)
- 令和3年3月：温浴施設が閉店、園内の便益施設が全て撤退
 - 令和6年8月～10月：民間活力による便益施設の設置に向けた公募型プロポーザルを実施
 - 令和6年11月：民間事業者による宿泊・飲食施設の整備と呉市による公園施設基盤整備を一体的に行う活用策を提案したCCKグループ（代表企業：地域創生ソリューション株式会社）を優先交渉権者として選定し、協議を開始
 - 令和7年1月：再整備に向けた取組方針を公表

- ### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定
- CCKグループによる公園内への宿泊施設、飲食施設の整備 (令和7年度～令和10年度)
 - CCKグループによる集客イベント（マルシェ、グルメフェスタ、イルミネーション）の実施 (令和11年度～)
 - PPP/PFI事業者による公園の整備・管理運営 (令和9年度～)

- ### (3) 基盤整備の必要性 (現状の課題等)
- 公園内には、国民宿舎や温浴施設が設置され、多くの地域住民や観光客が来訪していたが、現在は、休息や飲食等の場がなく、来園者が減少している
 - 園路や休憩施設の老朽化により、公園の魅力が低下している
 - 民間による集客施設の整備と一体的な公園全体の再整備により、地域交流及び観光の拠点として賑わいを創出する



- ### (4) 【調査内容】
- 音戸の瀬戸公園（広場、園路）の再整備に係る基礎調査（需要調査、地形測量）
 - 音戸の瀬戸公園（広場、園路）の再整備に係る概略設計
 - 公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

- ### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果
- 公園エリアの魅力向上と市内の回遊性向上による市内観光客及び観光消費額の増加
 - 民間ノウハウを生かした再整備による賑わいの創出
 - 民間事業者の集客イベントの実施による公園来園者数の増加及び地域の交流促進